

■ 日本最大規模 出芽酵母の研究資源拠点始動

広島工業大学

ライフサイエンスや醸造に利用される出芽酵母の研究資源の収集、保存、提供を通して、世界規模で生命科学や発

酵産業の研究・開発に貢献する国家プロジェクト機関として活動を始めた。生命学部の実験室に零下80度の超低温フリーザー5台を据え、酵母やDNAなど日本最大級の2万5000以上の研究用資源を冷凍保存する＝写真。この中には、2016年に「オートファジーの仕組みの解明」でノーベル生理学・医学賞に輝いた大隅良典博士が実験に使った酵母も保存されている。



幅広い生物遺伝資源を基に基礎・応用研究を推し進める国のナショナルバイオソースプロジェクトの一環で、酵母では広島工業大学と大阪市立大学が2大拠点。広島工業大学の責任者である生命学部食品生命科学科の杉山峰崇教授が4月に着任したのに伴い、杉山教授の前任の大学から広島工業大学に拠点が移った。